

子どもだけでなく、 親までワクワクします。

公園探検、木片や葉っぱを生かしたおもちゃ工作、田んぼや畑づくりに、園庭でのキャンプ。勤務中、アプリを通してスマートフォンに伝えられる子どもたちの活動は実に楽しそうで、写真を見て、私も大いに元気づけられます。しかし、単なる体験型教育でないことは、帰宅後の会話からわかります。このようなプログラムを通して、子どもたちは自分の頭でよく考え、創意工夫を重ねています。自らの意見や活動の成果を発表する機会も多いようです。今日は何に挑戦をするのか？ どんな話が聞けるのか？ そんな楽しみが我が家の毎日を彩っています。

相島 明代さん

01



0歳児と
3歳児が
在園中



視野の広さ、自主性・ 自律性の成長を感じます。

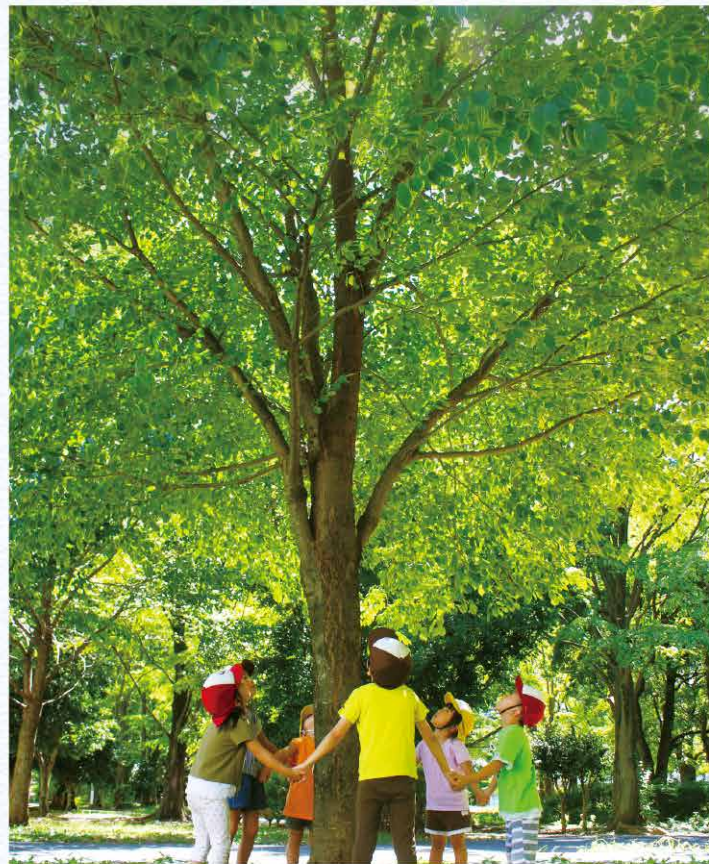
ハーネム・アハマドさん

家族でエジプトから来日し、娘が入園。最初はことばもわからず不安でしたが、保育者の皆さんが気を遣ってくださり、また、園の活動が遊び中心なので、すぐに誰とも仲よくなりました。ランチでは、ハラール(イスラム教の教え:たとえば豚は食べてはならない)にもしっかり対応してもらえています。娘は以前より視野が広くなりました。散歩の時は、よくいろいろなものに気づき、家でも誰かが困っていると「大丈夫?」と声をかけてくれます。また、自主性や自律性の成長も実感しています。着替えや靴の脱ぎ履きも自分で進んで行い、年上のいとこが遊びに来た時に、「私はまだできないのに」とビックリしていました。

02



2歳児が
在園中



社会福祉法人 あすみ福祉会
茶々ひがしとやま子ども園 (認定こども園)

●お問い合わせ・見学のお申し込み TEL:03-5155-4321

<https://chacha.or.jp/hoikuen/茶々ひがしとやま子ども園>



今日、 地球で 何しよう？

同じ種類の花の匂いを嗅ぎ、「こっちの花と、あっちの花の匂いは違うね」と言った女の子がいました。セミの鳴き声を聞いて「なんで同じ種類のセミなのに、鳴き声が違うんだろう？」と疑問に思った男の子がいました。子どもの感性は、大人の想像を軽々と超えていきます。戸外に踏み出した時に感じる太陽の光、頬を撫でる風、土の匂い、雨音。季節の移り変わりの中で様々な表情を見せる木々や草花。生命の力強さと尊さを感じさせる虫たち。それらは子どもたちの好奇心に働きかけます。そのひとつひとつの出会いがタネだとしたら、タネの成長を支える肥沃な土壌が必要です。乳幼児期は、まさにその土壌を耕す時です。未知なるものにあふれた世界へ。子どもたちがゆたかな感性と強い好奇心を持って歩めるように。ひとつひとつの体験と体験を結びつけて、より深い思考へ繋げられるように。そのために私たち保育者はここにいます。

茶々ひがしとやま子ども園 園長 熊木 たかひと

新宿「自然」区

SHINJUKU "SHIZEN" KU

私たちの毎日は、自然とともにあります。
 広い園庭、そして、近隣には186807㎡という面積を誇る戸山公園が広がっています。
 新宿区＝大都会というイメージからかけ離れたゆたかな自然がもたらす季節の移り変わり、多種多様な草木花、生き物とのふれあいの中で学びと成長のドラマが繰り広げられます。

毎日が出会いと発見と
 挑戦に満ちています。

大久保通り

韓国系の飲食店が並び、コリアタウンとして有名になった大久保通りですが、最近では、中国、タイをはじめとするアジア各国、さらに中近東の国々の人々も増え、ゆたかな多様性が感じられるエリアになっています。



大久保通り
OOKUBO St.

明治通り
MEIJI St.

東京メトロ
副都心線
Tokyo Metro
Fukutoshin Line

東新宿駅
Highashi-shinjuku Station

都営地下鉄
大江戸線
Toei Subways
Oedo Line

つながりの木

子どもたちは、異年齢で構成されるグループ単位で野外活動を行います。戸山公園には、各グループの子どもたちが話し合ってきた「つながりの木」があります。それぞれの木は、四季折々の自然観察のモノサシに、また、人と人、人と自然、今と未来をむすぶ大切な「つながり」のシンボルになっています。

Tsunagari no Ki

ヨルデン

Jorden

ボクはヨルデン。スウェーデン生まれの妖精さ。ヨルデンとはスウェーデン語で「地球」のこと。ボクの国の森に似ているという評判を聞いて、戸山公園にやってきました。茶々ひがしとやま子ども園の子どもたちと手紙のやりとりをしながら、自然の大切さを語り合っているよ。

親子遠足

5月の代表的なイベント、3、4、5歳児による親子遠足。つながりの木に集合して戸山公園のあっちこっちへ元気づくずん歩いていきます。

Hakone Yama

山手線内で一番高い「箱根山(築山)」。その標高は何メートル？
 答えはこのパンフレットのどこかに！

戸山公園

戸山二・三丁目と大久保三丁目にまたがる広大な都立公園。梅や桜、柿や金木犀などの木々の彩りや昆虫や爬虫類、鳥類をはじめとするさまざまな生き物が子どもたちの感性を刺激します。

Toyama Park

茶々ひがしとやま子ども園



東戸山小学校

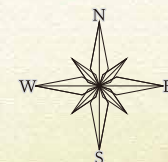
茶々ひがしとやま子ども園の卒園生たちも通っているお隣の新宿区立東戸山小学校。校内にはヤギがいて、一年生を中心に、みなでお世話をしているそうです。

茶々ひがしとやま子ども園 (認定こども園)

春には桜、秋には紅葉で色づく園庭。室内からの移行もスムーズで、加えて随所に風が吹き抜ける構造になっているため、常に自然を感じられます。子どもたちは、伸び伸びとカラダを動かせるこの園庭で、水、土、風、光、影などを生かした遊びを楽しみ、アート作品を創ります。

ちやちやカフェ

茶々ひがしとやま子ども園の中には、なんとカフェがある!? 保護者や子どもたち、子育て中の地域の方々の憩いと交流の場になっています。





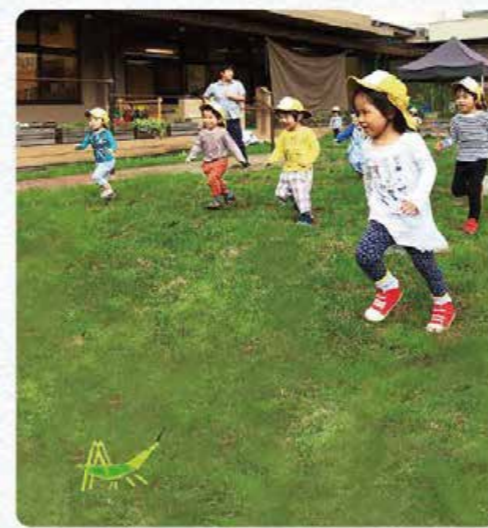
社会福祉法人 あすみ福祉会

茶々 ひがしとやま 子ども園

(認定こども園)



疑問に思う。
試してみる。
工夫する。
もっと知りたくなる。
遊びがいちばんの
学びです。



広い園庭と公園と。
自然に囲まれ、
自然とふれあう
毎日があります。



集団ではなく、
一人ひとりと
向き合い、
それぞれの個性と
成長を大切にします。



子どもたちにとって
1日1日を
どれだけ特別な日に
できるか。
それが私たちの
日常です。



挑戦すること。
その積み重ねで
自己肯定感を
高めていきます。

梅、姫リンゴ、金柑、
ブルーベリー。
園庭の恵みを
ジャムやジュースに
させていただきます。



着替える。
箸や道具を使う。
少しずつ、
でも着実に、
毎日の積み重ねで
生活習慣を
習得します。



ランチは
ビュッフェ形式。
料理は出汁を
取るところから
手づくりで。
食べることに
真剣に取り組めます。



ゆたかな自然や
多様な人・モノ・
機会と接しながら
多様性が
育まれていきます。



日頃の活動は、
異年齢で構成される
グループで。
年少は年長に
憧れて成長する。
年長は認められて
自信を深める。



世界をおもしろがれる
創造力と行動力を。
一人ひとりが、
自分の人生を
愛せるように。